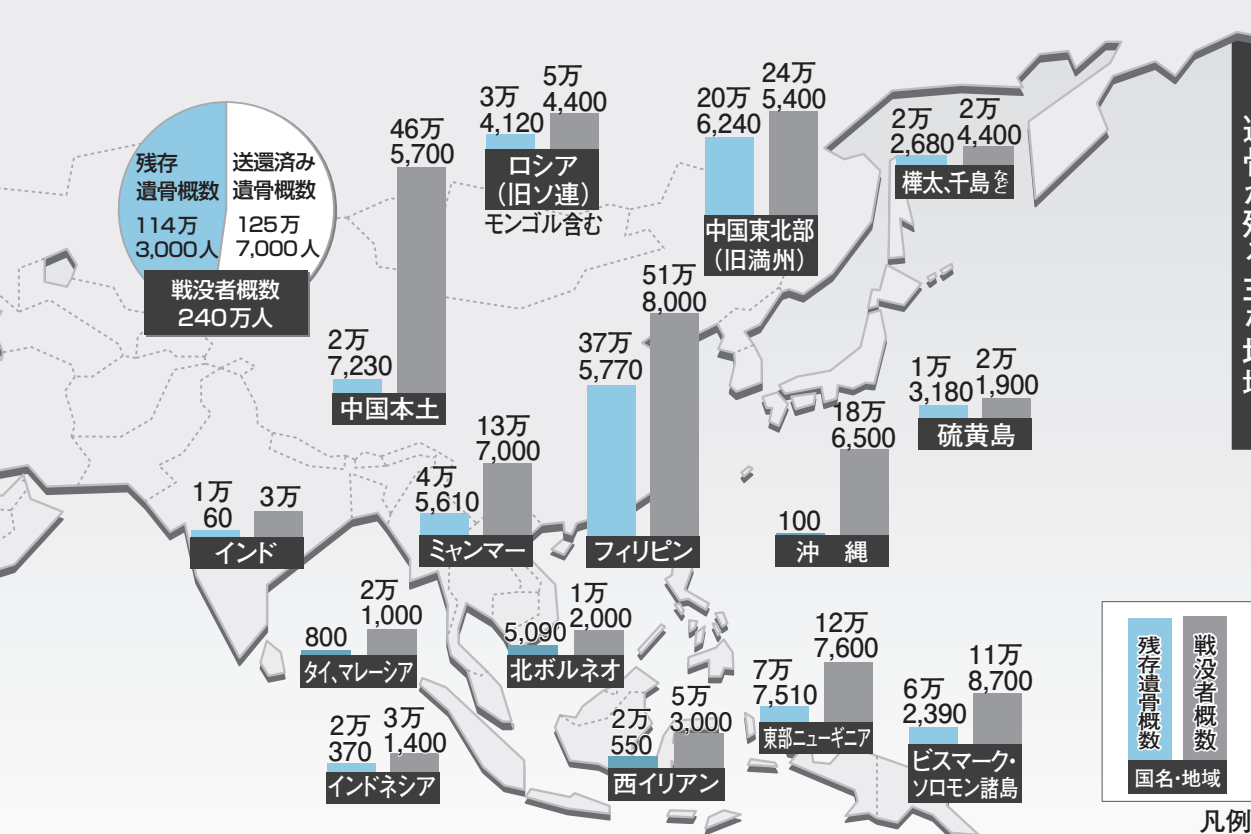


戦争 遺骨収集

遺骨が残る主な地域



凡例

厚生労働省発表 (平成22年3月31日現在)

第二次世界大戦中・戦後、海外で死亡した日本人は約240万人(概数)と言われています。その遺骨を故郷・日本に帰す活動が遺骨収集活動です。

厚生労働省は、昭和27年度から南方地域での遺骨収集を開始。また、平成3年度からは旧ソ連地域、平成6年度からはモンゴルでそれぞれ、抑留中の死亡者について遺骨収集が可能になり、活動を開始しました。

その結果、これまでに約32万柱の遺骨を収集。陸海軍部隊や一般邦人の引き揚げ者が持ち帰ったものを含めると、海外戦没者約240万人のうちの約半数(約126万)が送還されています。

旧ソ連・モンゴル地域には、第二次世界大戦後に約57万5000人(推計)が抑留され、約5万5000人が抑留中に死亡しています。平成21年度末までに2万280柱の遺骨を収集し、モンゴル地域についてはおおむね収集を終えています。

おれだけ帰って済まない 必ず迎えに来るから

生前、遺骨収集活動に熱心に参加していた望月寅雄さん。それは、自身がシベリアで抑留されていたとき、抑留中に死亡した同僚とのちがいの言葉「必ず迎えに来る」この約束を果たすため。これは、故望月寅雄さんの記録

大正15年8月10日 大淵にて出生

昭和16年

6月 満州に渡る。「満蒙開拓青少年義勇軍」入隊

昭和20年

8月7日 徴兵。部隊入隊

昭和24年

8月16日 武装解除。強制労働

昭和24年

帰国 シベリア遺骨収集・埋葬地調査に参加(計19回)

平成20年10月19日 死去(享年83歳)

食う物もない、労働はきつい、氷点下30℃・40℃の寒いところでも仕事をしなきゃならない。

奥さんの名前を呼び、息子の名前を呼びみんな倒れていった。私はこうして帰って来たが、いまだに帰れない同僚がソ連の凍土の中に埋められている。私はソ連から生きて帰って来た者の使命として、遺骨調査・遺骨収集に参加している。

みんな祖国のために連れて行かれたのだから：



1_「早く見つけるよ」約束が今果たされる
2_「やっと迎えに来れたよ。日本に帰ろう」かたい大地で待ち続けた57年前の若い将兵に語りかける
3_「風がどの方向に吹いていても、煙は必ず日本にたどり着く」そう信じて焼骨する
[1,3:H6.7.26~8.9 2:H15.10.6~20 遠藤尚次さん撮影]

「ここに存在している私たちを」

戦争の真実を知ってくれ
そう語りかけているようでした。



望月寅雄さんの遺志を継ぎ、遺骨収集活動に参加。現地を調査し、戦争体験者の口述記録をとり続ける
辻 俊行さん (伝法)

私が初めて遺骨収集に参加した2006年8月の活動は、夏にもかかわらず氷点下、雪の中での作業でした。厳冬期には氷点下60℃にもなる収容所で、極寒・飢餓・重労働の末に無念にも亡くなった兵士の亡きがらは、戦争の悲惨さ、愚かさを私に訴えていました。

の最期の約束は「絶対ふるさとに帰してやる」。その約束を果たすため、「お帰り」そう言える日まで、かたくなに仲間を探し出す人でした。

政府が派遣している遺骨収集は、抑留経験者本人または遺族のみが参加できます。そのどちらにも当てはまらない私が参加できるのは、仲間との約束を果たすため、遺骨収集を続けた望月寅雄さんのおかげです。

日本を思い、日の丸を背負って戦った望月さん。「ふるさとに帰りたい」そう思いながらシベリアの凍土に眠った仲間たちと

和を願っています。

平和だから伝えたい 戦争

7月27日(火)から歴史民俗資料館に「戦争とくらし」コーナーを常設

戦争の歴史的経過、戦争と人々の暮らし、戦争と子どもたちをテーマとした実物資料などを展示するほか、企画展示、子ども向けの戦争関連の書籍コーナーを配置します。

開館時間 / 4月～10月：9時～17時
11月～3月：9時～16時30分

休館日 / 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
問い合わせ / 市立博物館 ☎(21) 3380

2010 平和のための富士戦争展

今回紹介したシベリア抑留・遺骨収集の展示のほか、実物資料や遺品などを通して、平和の大切さ、命のとうとさを訴えます。

とき / 8月10日(火)～15日(日)
ところ / ロゼシアター展示室

問い合わせ / 核兵器廃絶平和富士市民の会
または平和のための富士戦争展実行委員会 (富士市職員組合内) ☎(55) 2893

帰る場所がある

待っている人がいる

「ただいま」

それは「平和の言葉」

なのかもしれませぬ

ミニミニ原爆展

被爆した広島・長崎の様子を写真・ポスターで紹介いたします。

とき / 8月9日(月)～25日(水)

閉庁日を除く

ところ / 市役所2階市民ホール
問い合わせ / 広報広聴課 ☎(55) 2700

通貨・証券などを返還しています

外地から引き揚げてきた皆さんが、税関などに預けた通貨や証券を返還しています。

問い合わせ / 清水税関支署田子の浦出張所 ☎(33) 2791

視聴覚資料を貸し出しています

「火の海・大阪」100ばんめのサル (ともにDVD：共和教育映画社) が新しく加わりました。

問い合わせ / 広報広聴課 ☎(55) 2700

